校園長室から

学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

・いのちを大切にできる子ども　・だれとでも仲良く協力し合う子ども
・意欲をもち学習する子ども　・ねばり強くはたらく子ども

令和８年 10 月 15 日 第 122 号

されど小樽

数えてみると今回の小樽訪問は ５ 度目。そのほとんどが「寿司」ねらいの短時間滞在。どうしても行きたいところへ今回は飛び込んだのでした。

「小樽文学館」。

入り口をくぐりチケットを買おうと受付へ行くと誰もいない。「すみません」と少し大きな声を出すと、何事かとあわてて係の人がやってきました。

インバウンドどころか、ほぼ誰もいない空間に小樽ゆかりの文学者の生原稿や写真がずらり。

伊藤整や小林多喜二、石原慎太郎などが小樽関係の文学者であることは、知っていましたが、ある女性詩人の詩の前に思わず立ちすくみました。

雪はただ白く降りて

大野百合子

雪は　　あつきおもいあれど
底ふかくつつめる　　静かなるこころなり

山々の峰に　　火の如き風に吹かれ
いつかそのこころをはぐくめり

よしや地上に　おもうことかなわじと
嘆く人あらばとて
雪はただ白く降りて　静かなり

円高になれば、再度小樽を訪れようと考えています。